

## 落合・中井は染めの街

江戸が育てた手描き友禅や小紋など、伝統を受け継いだ染色技法の数々。落合・中井界限には、そうした技術や文化が、今でも息づいています。

戦後間もない頃の東京は、京都や金沢に並ぶ染めの三大産地として全国に名を馳せていました。その中心を担ったのが、水質に恵まれた神田川、妙正寺川流域だったのです。時代とともに着物業界が下火になり、往時の勢いを失うなかでも、染め職人たちは日々研鑽を重ね工房を維持してきました。

「蛍狩り」の名所と称されるほど水質に恵まれた水量も豊富でした。



江戸自慢三十六興  
「落合ほたる」  
歌川豊国・歌川(二代)広重  
元治元年(1864年)  
新宿歴史博物館蔵

### 街を丸ごと染め物で飾る

街自体を染め物のギャラリーに見立てたイベント、それが「染の小道」です。中井駅前の商店街と妙正寺川の川面を3日間、染め物が彩ります。

水と緑に恵まれ、個性的な店舗が立ち並ぶこの界限は、林芙美子や赤塚不二夫など多くの文化人も惹き付けてきました。染めをきっかけとして、落合・中井の「いま」を体験し、地域と人が醸し出す奥深い魅力を味わっていただければ幸いです。



東京メトロ東西線  
落合駅のパネルにも  
江戸小紋柄が  
採用されています。

## 街の記憶を今に引き継ぐ「川のギャラリー」



江戸文化が醸成した染色の技術。それを受け継いできた染工場の職人たち。川のあちこちで染め物の水洗いをする様子は、昭和30年代まで落合・中井の日常風景の一部でした。

「川のギャラリー」では、色とりどりの反物を川面に架け渡すことで、当時の街の記憶を現代に甦らせませす。江戸小紋や友禅染めなどの反物で着物には使うのが難しいストック品などを提供いただき、展示用に手を加えています。

## 手わざが光る染色の技法

「染の小道」で飾られるのれんは、プロの染色作家から染色を勉強する学生までが、それぞれの技量に応じて、さまざまな技法を駆使して制作しています。どんな工程でつくったのか、できあがった作品から想像を巡らせてみるのもまた一興です。



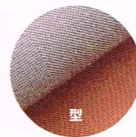
### 型染め Kata-zome

模様を彫った型紙を用い、白生地に防染糊を付け、白地に染め抜きます。  
Dyeing with hand-cut paper stencils.



### 友禅染め Yuzen

防染糊で絵柄の輪郭を手描きし、多色で染め上げます。  
Painted in free hand and dyed in many colors.



### 江戸小紋 Edo-komon

型染めの一つ。遠目には無地に見える程の細かい紋様が特徴です。  
Dyed with finely detailed paper stencil.



### 絞り染め Shibori

布の一部を縛り(絞り)、染料が染み込まないようにして模様をつくります。  
Tie-dyed style.



### 紅型染め Bingata

沖縄を代表する伝統的な技法。型紙で糊を置き、手筆で色を揮います。  
Okinawan-style stencil dyeing, colored by hand.

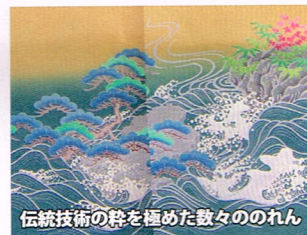


### 草木染め Kusaki

植物の葉をはじめ、茎、根、実などの煮汁を用いた天然染料を用います。  
Dyeing with natural colors made from various plant parts.

## 染色の技術の粋を身近に「道のギャラリー」

着物に使われる染色の技術で、店舗の「のれん」を染めた作品が97枚一。さまざまな手法が楽しめる技法の見本市とも言えるのが「道のギャラリー」です。展示されるのれんは、制作者がお店と相談しながらこの日のために染め上げた、オリジナル作品です。



伝統技術の粋を極めた数々ののれん



西武新宿線中井駅には  
新宿区染色協議会による巨大のれん



ぜひ着物でお越しください

## 地域と一緒に「百人染め」

地域の方々にも染めに親んでもらおうと、皆で1枚の布地を染める企画、それが「百人染め」です。染めた布地は、川のギャラリーの一部として展示しています。

学園祭や地元のイベント、近隣の小学校などで各回テーマを決めて実施。小学校の授業では絞り染めで、障害者支援施設では車イスの車輪で、など染め方も多彩。たくさんの方の手によって染め上げられた、カラフルでハッピーな作品をお楽しみください。

## 染めが人をつなぐ「百人のれん」

今年度も「百人のれん」の染色講座を2~4回にわたり開催しました。紅型染め・友禅・抜染の各種技法で制作。参加者計45名が染めたピース、4~9枚でつなぎ合わせたのれんを、6カ所に飾っています。技法の違いによって作風が変化する染の妙や、幅広い参加者によって表現された楽しさ、奥深さを感じてください。



みんなで染めた「百人のれん」



力を合わせた「百人染め」

[2015年 百人染め参加団体]  
目白大学、落合第二小学校、落合第三小学校、落合第五小学校、あゆみの家、落合第三幼稚園、しんじゅく多文化共生プラザ、おちあいプレーパーク、上落合三丁目町会、中落合子ども家庭支援センター、ぼっぼのいえほいくえん、落合三世代交流サロン

## 匠の技で街を彩る「協議会 十のれん」

落合・中井エリア10カ所の店舗(マップ番号 21 39 42 46 47 64 79 87 92 95)には、新宿区染色協議会の皆様の手掛けた友禅や小紋、更紗ののれんを展示します。東京都認定の伝統工芸士や、新宿区「技の名匠」の称号を持つ名人たちが、熟練の技量を存分に発揮して制作しました。街のあちこちを探索しながら、本格的な染色の魅力をご堪能ください。



「協議会 十のれん」  
このマークが目印